

第2回 洲本市特別職報酬等審議会 会議録（要約）

《答申案の説明について》

委員：答申案では「自主財源の確立の成果が特別職の報酬等に反映されるべきものとする」ということであるが、財政面で自主財源に成果がでなければ、これから報酬を引き上げることができなくなるというような表現ではないか。

事務局：第1回目の会においては、多くの委員より、本市の財政面での懸念のご指摘がございました。このことから、今後も報酬等の妥当性を検証する中で、県下での比較において、公債費率の高さ等が大きな課題であることは明白であり、これらを克服していく中で、市民の皆様より、報酬額の引き上げに対し理解が得られるものと考えます。

会議終了後、会長より市長に答申書を手交し、審議会での意見の概要を説明する。